

RIKEN CBS 脳科学塾

2026-2027 公開シラバス

このシラバスは公開用のシラバスです。脳科学塾の正規受講生になった方には、別途詳細を記載した受講生用シラバスをお送りします。

このシラバスに記載されている内容は予告なく変更になる場合があります。

また、このシラバスは日本語版がありますが、授業や試験、その他スタッフとのやりとりなどは原則全て英語を用いて行われます。

1. 目次

1. 目次	1
2. 脳科学塾とは	2
2.1 プログラム詳細	2
2.2 ミッション&到達目標	2
3. プログラム概要	2
3.1 概要	2
3.2 タイムライン	3
3.3 リンク (TBD)	3
4. プログラムの形式&構成	3
4.1 受講形式	3
4.2 修了要件と成績	4
4.3 講義	4
4.4 ジャーナラルクラブ	5
4.5 中間試験と期末試験	5
5. 脳科学塾への応募方法	5
5.1 応募資格	5
5.2 応募書類	5
6. 学術倫理&AI利用に関する方針	6
6.1 剽窃・盗用に関して	6
6.2 BSTPにおけるAIの利用に関して	6
7. よくある質問	7

2. 脳科学塾とは

2.1 プログラム詳細

脳科学塾とは、理化学研究所 脳神経科学研究センター（理研 CBS）が主催するプログラムで、10月から翌年6月までの2セメスターにわたって実施されます。

プログラムの内容は、チームリーダーやユニットリーダーによる講義が24回、各セメスターでジャーナルクラブでのプレゼンテーションが2回、最後に試験が2回で構成されています。将来的に神経科学の研究者を目指す方、あるいは脳神経科学に関心のある方を対象としており、主に修士課程から博士課程の学生をターゲットにしていますが、学部生やポスドクの方もご応募いただけます。また、いくつかの講義へ参加したい方のために、聴講生のオプションも設けています。

2.2 ミッション&到達目標

脳科学塾では、理研 CBS の研究者たちの多様な研究領域を活かし、神経科学を体系的に学ぶことができます。このプログラムを通じて、次世代の神経科学者の育成に貢献をしていきたいと考えています。本プログラム修了時には、受講生は以下のことができるようになります。

1. 神経科学の幅広い分野をしっかりと理解している。
2. 神経科学の様々な分野における概念や方法を結びつけることができる。
3. 神経科学の研究者になる上で、科学的な実践や多様なキャリアパスがあることを理解する。
4. 科学分野において、英語で自信をもってコミュニケーションを行うことができる。
5. 神経科学への情熱を共有する仲間やメンターとのつながりを築く。
6. 将来、再びRIKEN CBSに戻ってきたいと思えるようになる（願わくば...!）

3. プログラム概要

3.1 概要

塾長:	Dr. Adrian Moore
副塾長:	Dr. 久保 郁 & Dr. Thomas McHugh
講師:	CBS チームリーダー / ユニットリーダー
ティーチング・アシスタント:	豊泉 英智
事務局:	CBS 人材育成チーム
講義形式 & 時間:	原則 理研 和光キャンパス (数回 オンライン) 火曜日 17:00 - 19:00
使用言語:	英語

3.2 タイムライン

募集開始:	2026/7/7
募集締切:	2026/9/4
講義開始日:	2026/10/6
ジャーナルクラブ#1:	2026/12/8
中間試験:	2027/2/2
ジャーナルクラブ #2:	2027/4/20
期末試験:	2027/6/1
修了式:	2027/6/8

3.3 リンク (TBA)

Class Google Drive: TBA
Post-class Reports: TBA
Zoom link for Journal Club & Exams: TBA Closed
Website: TBA
Application website:
Voice of former participants:

4. プログラムの形式&構成

4.1 受講形式

- **正規生:** 脳科学塾の全課程を受講する方向けのコースです (3.2に記載のすべてのプログラム)。このコースは成績評価の対象となり、一定の基準を満たした受講生には、プログラム修了時に修了証を発行します。
受講は原則として理研CBS (和光キャンパス) での対面参加となります (首都圏在住の方は原則現地参加となります)。毎週通学することが物理的に難しい方を対象に、オンラインで受講も可能です。(申込フォームで選択できます)。東京大学大学院または早稲田大学大学院で単位認定を希望される方は、本コースにご登録ください。
- **聴講生:** 脳科学塾の一部の講義のみ受講したい、脳神経科学に興味がある方を対象としたコースです。修了証は発行されません。Zoomで講義を受講できますが、講義資料および講義録画は提供されません。なお、正規コースの受講者数に余裕がある場合に、対面で講義を受講いただける場合があります。

	利用可能なコンテンツ	参加形式	修了証	単位認定
正規生	全て	原則 現地 (数回 オンライン)	あり	あり (事前に所属機関に確認ください)
聴講生	講義の聴講のみ	オンライン(zoom)	なし	なし

4.2 修了要件と成績

出席 & 講義後レポート	30%
ジャーナルクラブ x2	15% x2 = 30%
試験 x2	15% x2 = 30%
積極的な授業への参加 & ピア評価	10%
合計	100%

修了には、プログラムの75%以上に出席する必要があります。

各セメスターで欠席できる講義は3回までです。

ジャーナルクラブと試験への参加は必須です。

総合評価が50%未満の場合は、終了と認められず修了証は発行されません。

脳科学塾を大学院での単位として受講されている方は、総合評価（%）を各大学の成績評価に換算して成績が付与されます。80%以上は最高評価、50%以下は最低評価となります。

4.3 講義

理研CBS 所属のチーム・ユニットリーダーの中から24名が、各2時間の講義を行います。前半で各チーム・ユニットリーダーの専門分野の概要を、後半で研究の紹介をします。

- **出席:** 正規生（オンサイト参加）の場合は、受講は原則として理研CBS（和光キャンパス）で対面で受講してください。オンサイト、オンライン受講生ともに各セメスターで欠席できる講義は3回までです。各セメスターで欠席が3回以上を超える場合は、ペナルティが科されます。講義への欠席・遅刻・オンライン受講への切り替えに関しては、事務局にご連絡ください。
- **講義資料:** 講義資料は、事前にクラスのGoogle Driveフォルダにアップロードされる予定です。講義資料を受講者以外と共有することは禁止します。
- **講義後のレポート:** 各講義・ジャーナルクラブ・試験の後、翌週の月曜日（p.m. 11:59）までにGoogle Formで簡単なレポートを提出してください。
- **講義中の質問:** オンサイトで参加者は、講義中に講師へ直接質問してください。zoom参加の場合、講師から質問を促されない限りチャットでの質問を入力してください。

・ zoom参加の際のビデオ画面に関して: 正規生がZoomで講義を受講する場合、講義中は原則ビデオをオンにしてください。やむを得ない事情によりビデオをオンにできない場合は、事前に事務局までご連絡ください。

・ 講義の録画: すべての講義は録画され、正規生は講義終了後1週間、録画を視聴することが可能です。ただし本プログラムは「オンデマンド」形式ではない点にご留意ください
受講生は、原則としてリアルタイムに講義に必ず出席してください。

4.4 ジャーナルクラブ

ジャーナルクラブは2回実施します。いずれもピアレビュー形式で行います。

講師が選定したプレプリントについて、受講生は各自でピアレビューを作成した後、グループでプレゼンテーションを作成・発表します。

詳細はクラスのGoogle Driveフォルダにアップロードし、アップロード後にメールでお知らせします。

4.5 中間試験 & 期末試験

各セメスターの終了時に、中間試験および期末試験として口頭試験を実施します。

試験はZoomで行います。受講生は、事前に公開された設問の中から1問について回答します。詳細はクラスのGoogle Driveフォルダにアップロードし、アップロード後にメールでお知らせします。

5. 脳科学塾への応募

5.1 応募資格

神経科学に関する知識は、大学院初期（修士課程程度）のレベルを想定しており、

将来、神経科学者を目指している方に適したプログラムです。

主に大学院初期（修士課程）の学生を対象としていますが、博士課程の学生および学部生からの応募も受け付けています。

現在、海外在住の方の受け入れは行っていません。日本に在住している外国人の方は応募可能です。

5.2 応募書類

正規生と聴講生で必要な応募書類が異なりますので、区分に応じて応募書類を**英語**でご用意してください（4.1参照）。

	正規生	聴講生
1. CV in a specific format	○	○
2. Letter of Motivation	○	○
3. Critical/Scientific thinking evaluation	○	×
4. Letter of Recommendation	○	×

1. **CV in a specific format:**https://cbs.riken.jp/img/TP/CV_BSTP2026.xlsx

2. **Letter of Motivation (~400 words)**

Explain why you want to participate in BSTP and your motivation behind it.

3. **Critical/Scientific Thinking Evaluation (two 500~1,000-word responses)**

Step 1: Watch the following sample lecture of BSTP: <https://www.youtube.com/watch?v=pitt1lvYJhQ>.

Step 2: Think of two scientific questions you would ask about the sample lecture above. Do your own literature search and compose a written answer to both of your questions. Your question can be related to any subfield of neuroscience (animal, human, computational, molecular, etc.), but make sure you refer to at least one scientific paper each. If there doesn't seem to be a clear answer to your question, provide discussions and speculations based on evidence. Your answers should be 500~1,000 words each without the reference(s), including the question itself.

*Please clearly state your question at the beginning of each response.

*Do NOT choose a paper published by your current or previous lab.

4. **Letter of Recommendation**

Set your file name as “Your name_Document title” (e.g., Eichi Toyozumi_Letter of Motivation), and send it through this application form: <https://riken-cbs.form.kintoneapp.com/public/applicationform-bstp2026-2027>

6. 学術倫理&AI利用に関する方針

6.1 剽窃・盗用に関して

本プログラムは受講生全員に大学・大学院の単位が付与されるわけではありません。

ですが、学術研究機関が実施する教育プログラムのため、学術倫理について高い基準を設けています。

本プログラムで行う発表や提出物は、受講者ご自身の成果によるものでなければなりません。他者の著作物、文章、またはアイデアを利用する場合は、適切な引用・出典の明記をしてください。

学術倫理に関する方針に違反した場合は、本プログラムから除籍の対処となる場合があります。

6.2 BSTPにおけるAIの利用に関して

講義の受講中や講義前後の復習、さらに関連文献を調べて理解を深める際には、AIやLLM（大規模言語モデル）を活用することで学習を効率化できる場合があることは認識しています。

一方で、脳科学塾でのジャーナルクラブおよび試験は、受講者自身の独創性を示し、学術的な能力を発揮するための重要な機会です。

そのため、LLMを使用してのスライドや回答の作成をすることは認められません。

これは受講者自身の学びの機会を損なうだけでなく、講師の時間の無駄にすることにもつながります。

提出された回答やスライドについては、複数のAIを用いて比較・確認を行います。

受講者自身による成果ではないと判断する十分な証拠が認められた場合には、正式な照会または厳重注意を行います。この方針への著しい違反が見られた場合は、本プログラムから除籍となります。

7. よくある質問

Q: 受講料はかかりますか？

A: 無料です。

Q: 高校生は応募できますか？

A: プログラムの内容が高度であること、受け入れ人数に限りがあることから、現在高校生の応募は受け付けておりません。

Q: 社会人でも応募できますか？

A: 大学卒業程度の学術的なバックグラウンドを有する方は選考対象となります。ただし、受け入れ人数に制限があるため、現役の学部生・大学院生を優先します。

Q: 正規生として合格しなかった場合、聴講生として受講は可能ですか？

A: はい。選考結果の通知メールにて、聴講生としての受講を希望されるか確認いたします。

Q: 海外に住んでいます。応募可能でしょうか？

A: 海外在住の方は応募できません。日本に住んでいる外国籍の方は応募可能です。

Q: すでにRIKEN CBSに所属しているのですが、応募可能でしょうか？

A: RIKEN CBSの研究室、または大学院のプログラムで所属している方でも応募可能です。応募の手続きは他の方と同じです。正規生として応募することを推奨しますが、CBSに所属していれば講義を受講できるので、聴講生としての応募は必要ありません。

Q: 脳科学塾を大学院の単位として認定してもらうにはどうすればいいですか？

A: 脳科学塾を大学院の単位として認定してもらう場合は、脳科学塾の受講が決定した後にご自身で所属大学の履修登録を行ってください。現在、東京大学大学院、早稲田大学大学院、OIST、京都大学メディカルイノベーション大学院プログラムは単位認定の対象となっています。ここに記載のない大学院でも、所属大学の教務課へお問い合わせいただくことで単位認定が認められる場合があります。